

「中野区基本構想に関するアンケート」の集計結果

【アンケート調査概要】

1 実施方法

(1) 「区民と職員のワークショップ」の案内に用紙を同封

- ア 期間 平成31年4月24日(水)～令和元年5月14日(火)
- イ 対象 18歳以上の中野区民から無作為抽出された2,000名
- ウ 回答方法 返信用封筒またはホームページで回答

(2) 区施設(区民活動センター、図書館)に用紙を設置

- ア 期間 令和元年5月16日(木)～令和元年6月17日(月)
- イ 対象 不特定多数の者
- ウ 回答方法 返信用封筒またはFAX

(3) 区ホームページで実施

- ア 期間 令和元年5月16日(木)～令和元年6月17日(月)
- イ 対象 不特定多数の者
- ウ 回答方法 ホームページで回答

2 設問内容

- ①基本構想の認知度
- ②どうすれば基本構想に親しみや共感を持てるか
- ③基本構想の基本理念に盛り込んでほしい言葉
- ④基本構想の改定への参加意向
- ⑤基本構想に優先的に記載してほしい内容

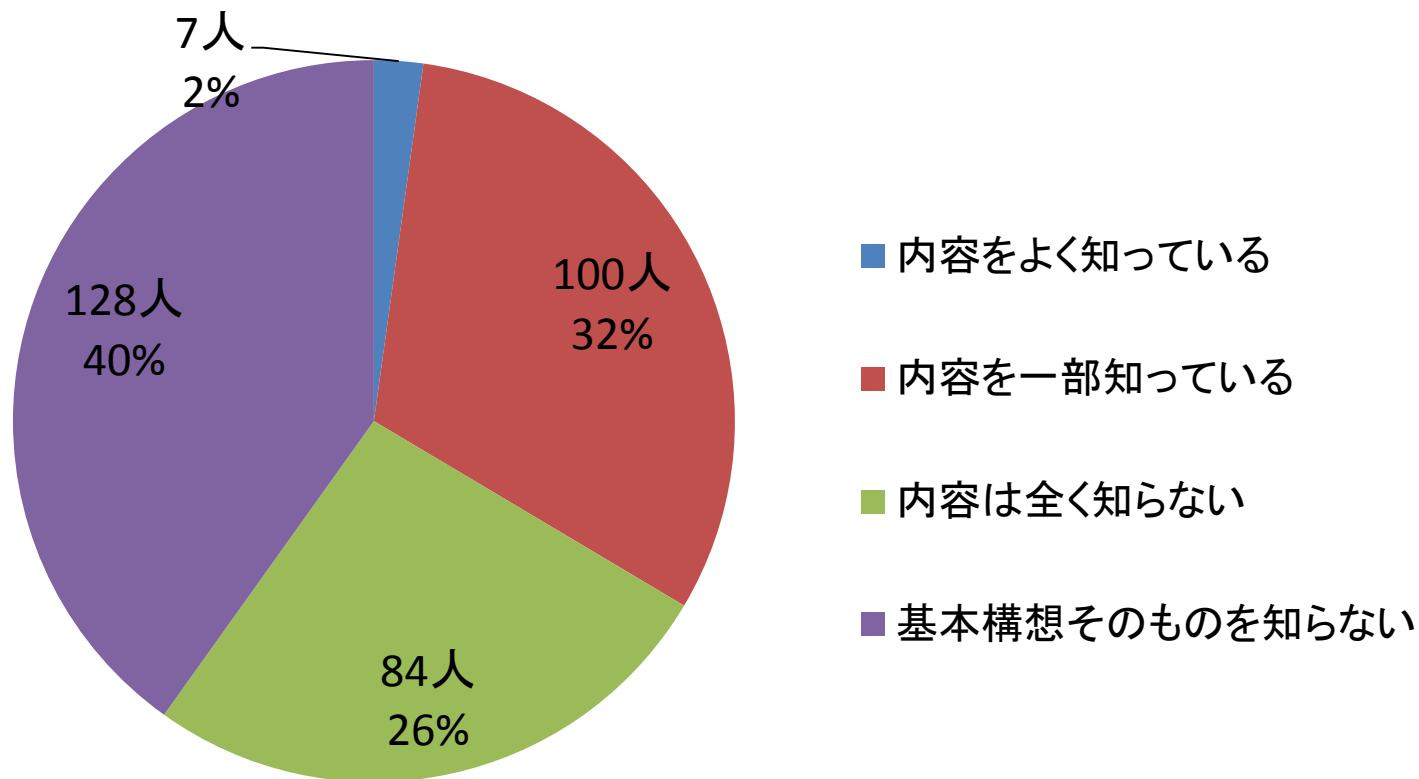
3 回答件数

321件

基本構想の認知について

基本構想そのものを知らない人が40%と最も多い。次いで内容を一部知っている・内容は全く知らないとなっている。内容をよく知っているは2%。

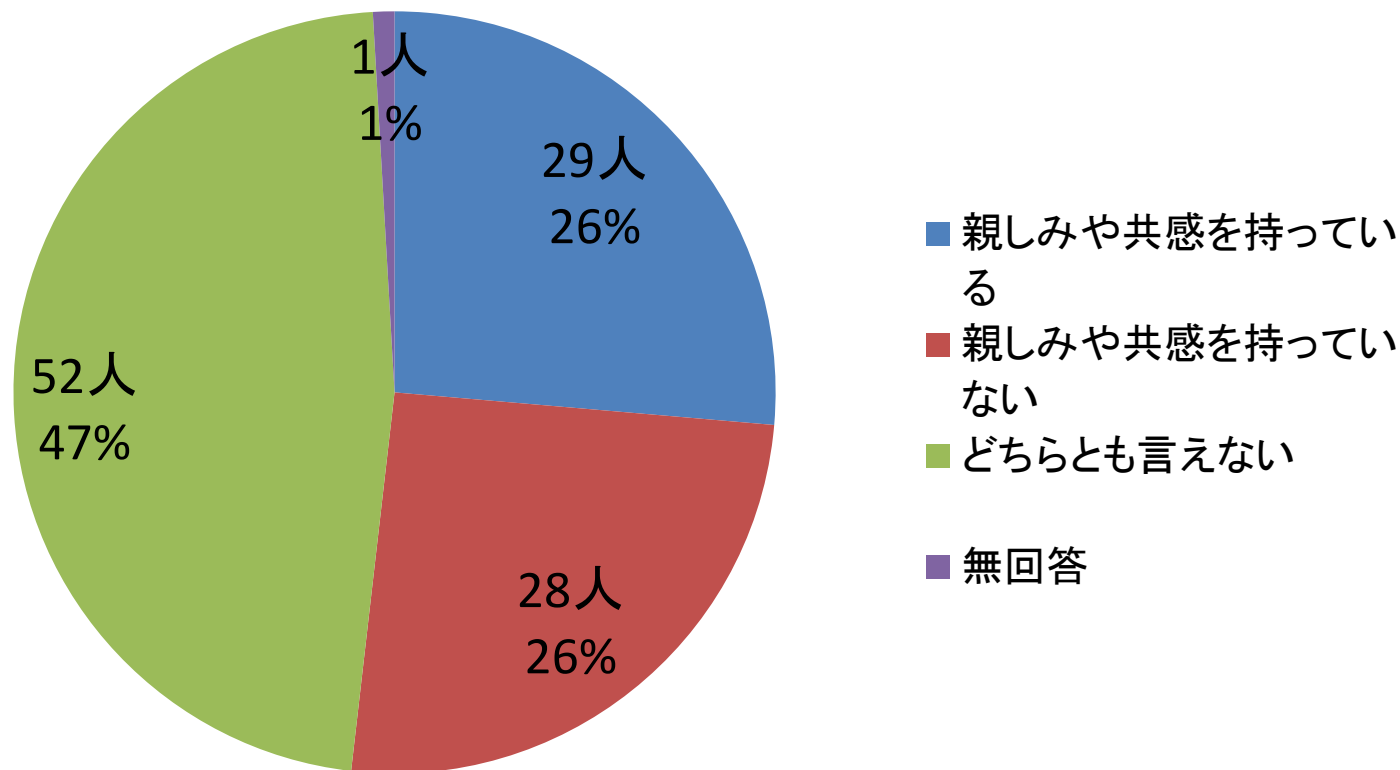
【設問】 現在の中野区基本構想を知っていますか。



基本構想の内容を知っている人の、内容への親しみ具合

「どちらとも言えない」が約半数。「親しみや共感を持っている・いない」が残り約半分ずつとなっている。

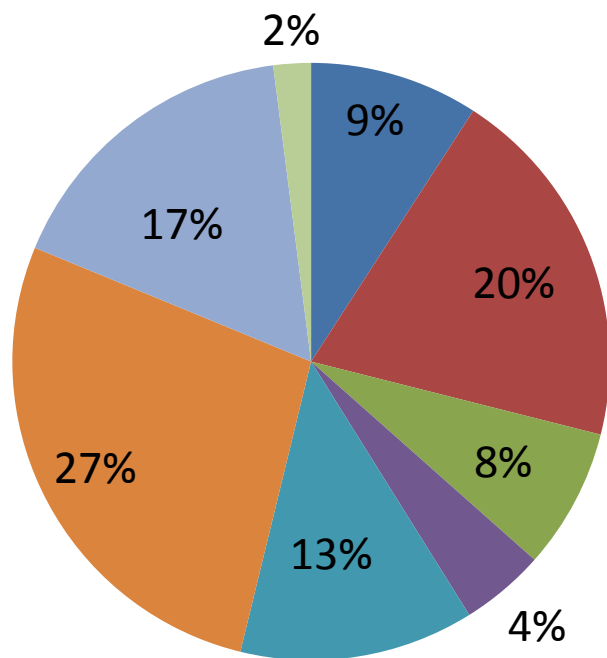
【設問】（中野区基本構想を「よく知っている」「一部知っている」と回答した方に伺います）現在の基本構想に親しみや共感を持っていますか。



どうすれば基本構想に親しみや共感を持てるか

「区民の意見が反映された基本構想であること」が最も多い。次いで「区の将来像が具体的に描かれていること」、「様々な媒体を通じて基本構想が区民に伝えられていること」が続く。

【設問】（基本構想に「親しみや共感を持っていない」「どちらとも言えない」と回答した方に伺います）
どうすれば基本構想に親しみや共感を持つことができますか。

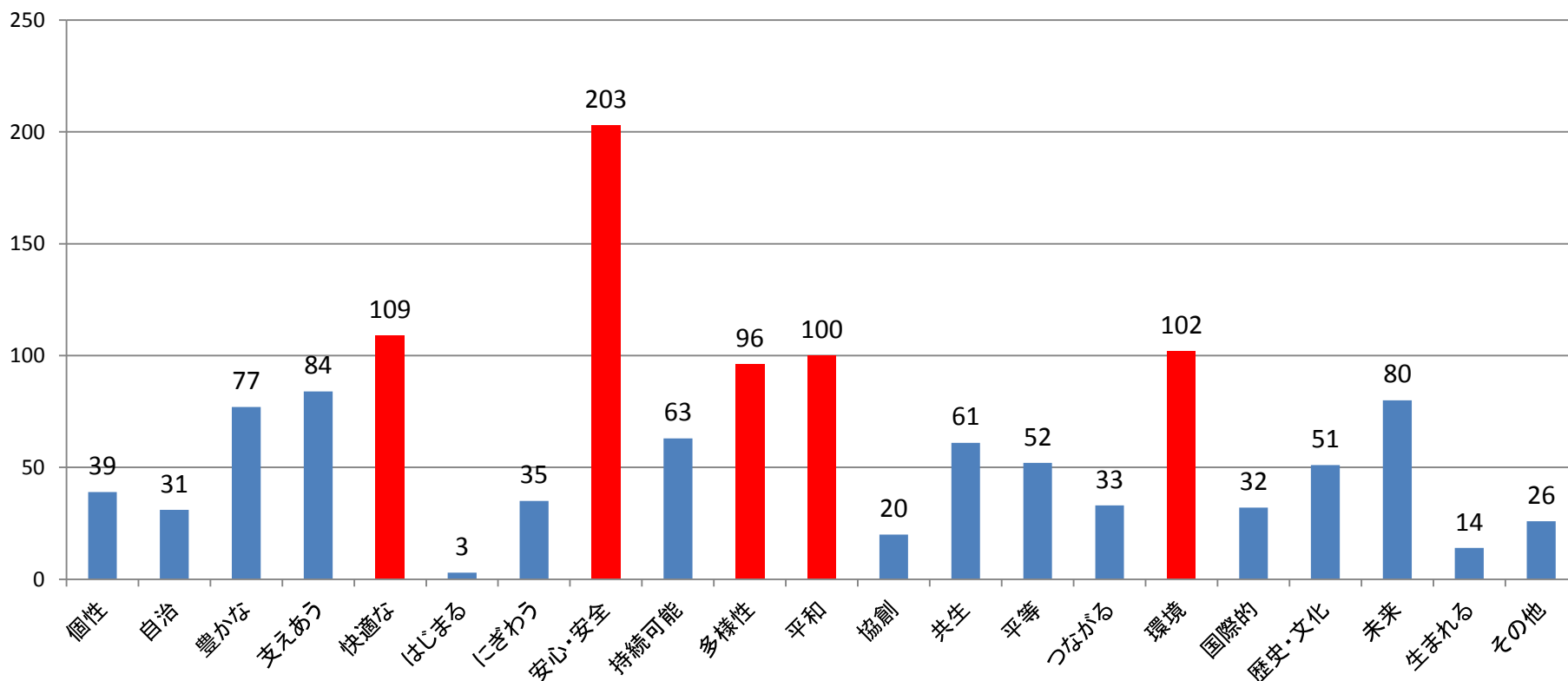


- 区の将来像が分かりやすい表現で描かれていること
- 区の将来像が具体的に描かれていること
- 中野区らしい基本構想であること
- 時代を先取りした先進的な基本構想であること
- 実現可能で現実的な基本構想であること
- 区民の意見が反映された基本構想であること
- 様々な媒体を通じて基本構想が区民に伝えられていること
- わからない
- その他

基本構想の基本理念に盛り込んでほしい言葉

「安心・安全」が最も多くなっている。次いで「快適な」、「環境」、「平和」、「多様性」が続く。

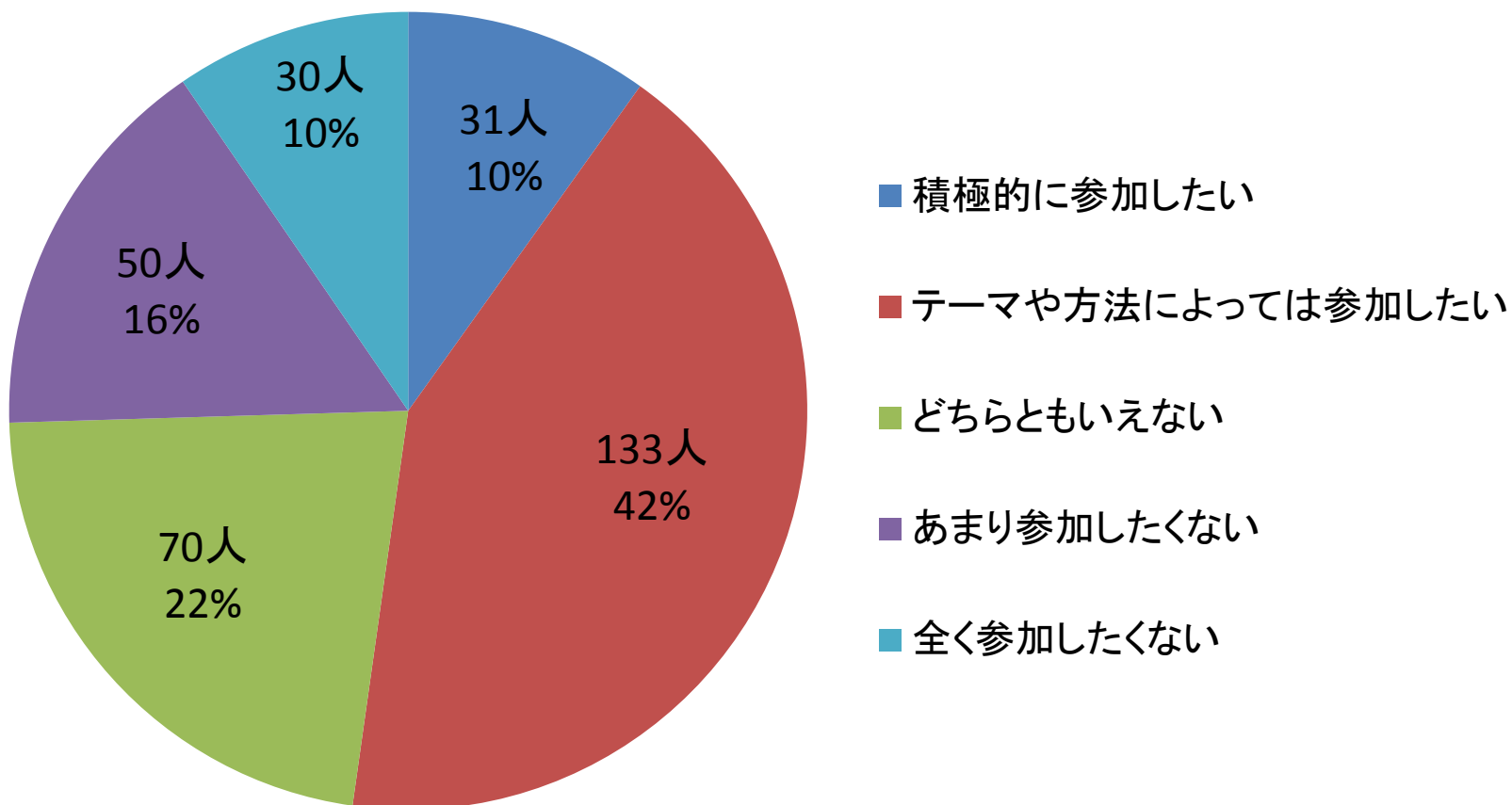
【設問】基本構想の基本理念（区民が共有する普遍的な理念）に盛り込んでほしい言葉は何ですか。



基本構想の改定に際して意見を述べる機会への参加

「テーマや方法によっては参加したい」が最も多い。「積極的に参加したい」と合わせて5割以上が、意見を述べる機会があれば参加したいと感じている。

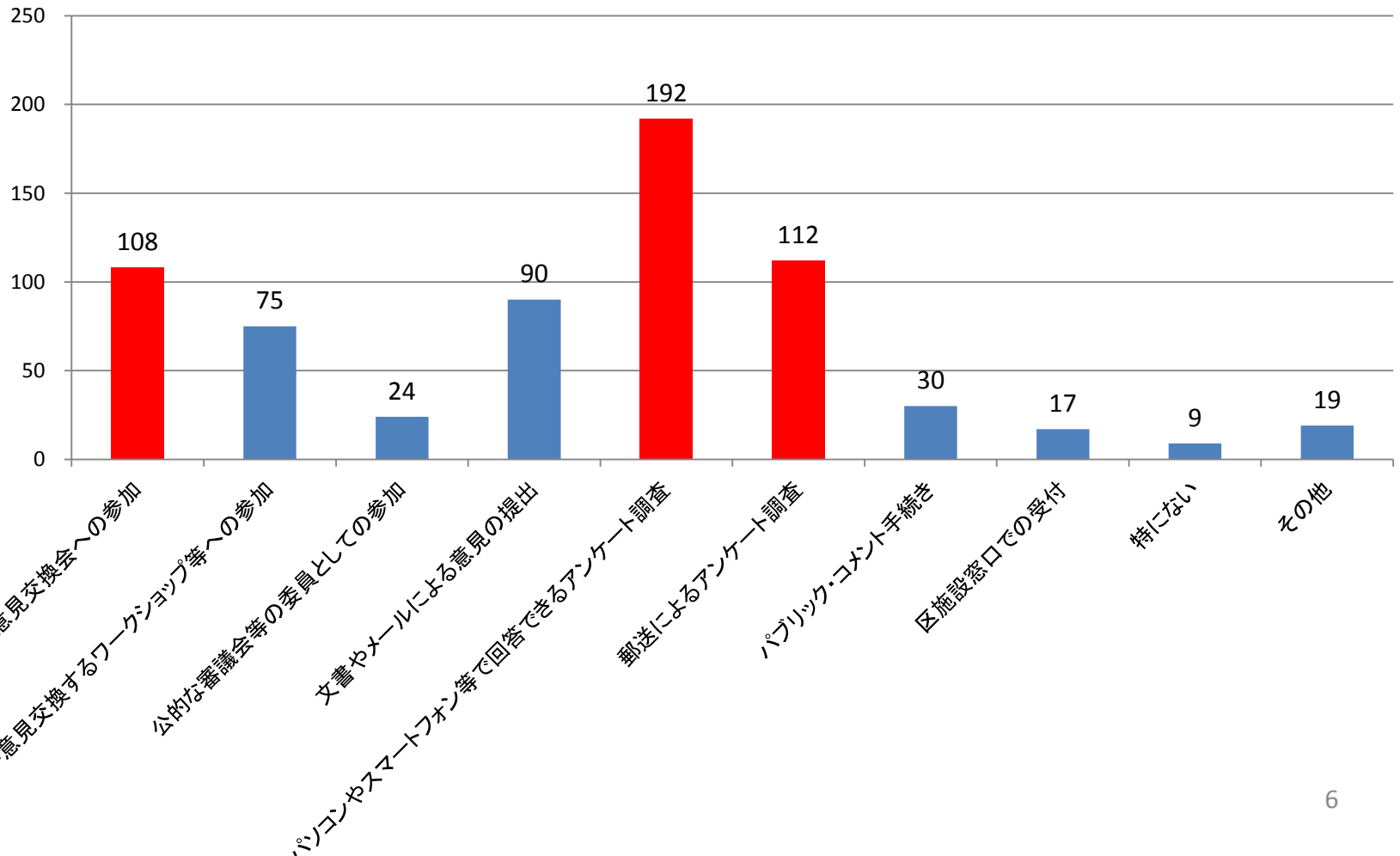
【設問】基本構想の改定に際して意見を述べる機会があれば、参加したいと思いますか。



意見を述べる機会として参加したいと思う方法

「パソコンやスマートフォン等で回答できるアンケート調査」が最も多い。次いで「郵送によるアンケート調査」、「区が開催する説明会や意見交換会への参加」と続く。

【設問】基本構想の改定に際して意見を述べる機会として、参加したいと思う方法は何か。
(3つまで回答可)



大切だと思われたテーマの順位

「子育て・教育」を最も大切とする回答が多かった。次いで「健康・医療・福祉」が続く。男女別に傾向を見ると、男性は「健康・医療・福祉」と「子育て・教育」を上位にする回答がやや多いものの分散した。女性は「子育て・教育」を上位に回答する傾向が強く見られた。

【設問】以下の4つの項目について、今後、10年後に目指すべきまちの姿として、大切だと思う順に回答してください。

	第1位	第2位	第3位	第4位	件数
1	子育て・教育	健康・医療・福祉	都市・防災・環境	自治・共生・活力	50
2	子育て・教育	都市・防災・環境	健康・医療・福祉	自治・共生・活力	27
3	健康・医療・福祉	都市・防災・環境	子育て・教育	自治・共生・活力	26
3	都市・防災・環境	子育て・教育	健康・医療・福祉	自治・共生・活力	26

○第1位を獲得した件数

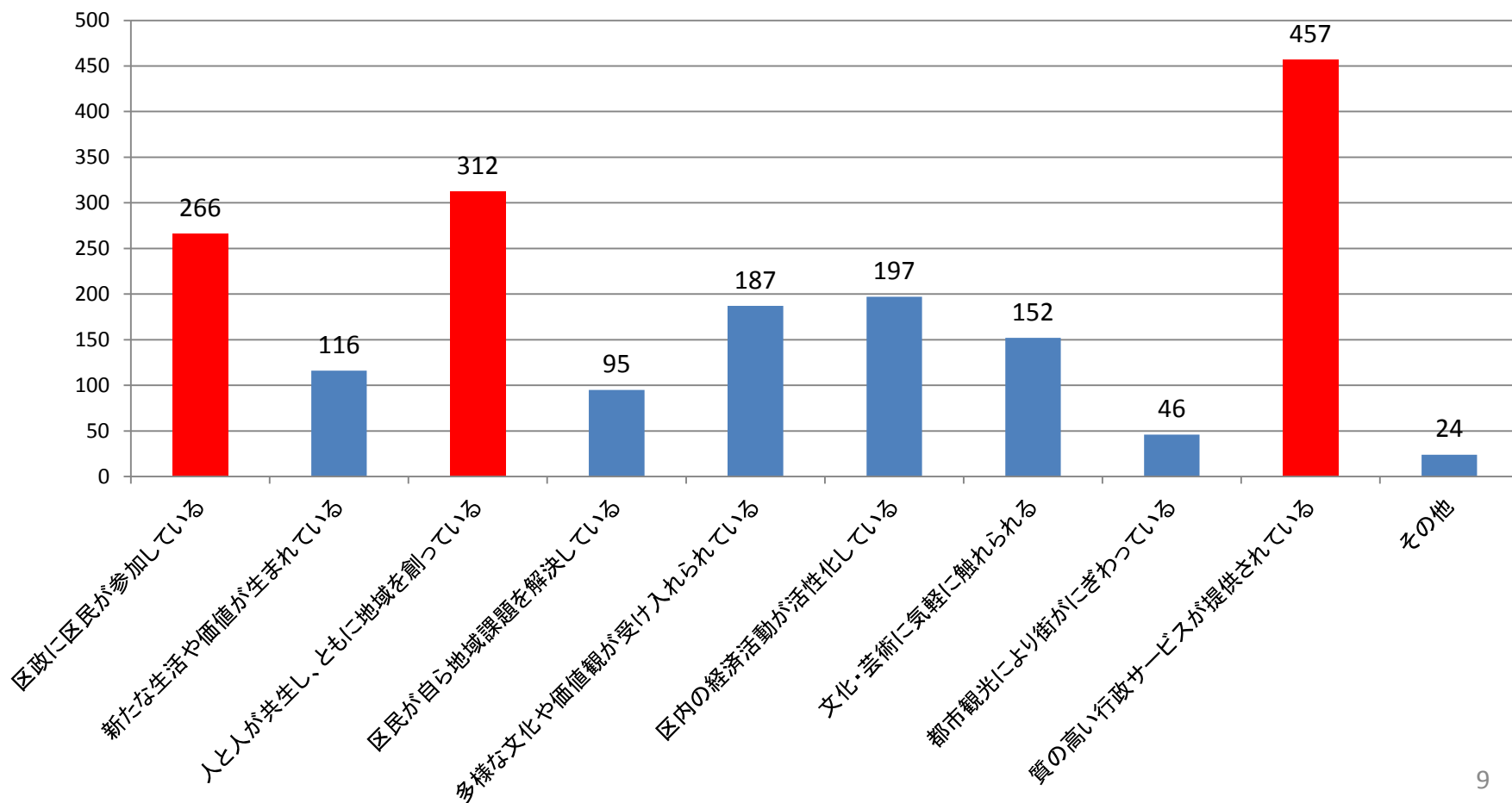
	テーマ	件数
1	子育て・教育	113
2	健康・医療・福祉	78
3	都市・防災・環境	68
4	自治・共生・活力	48

10年後に目指すべきまちの姿として
大切だと思う内容

<自治・行政・活力>

「質の高い行政サービスが提供されている」が最も多い。次いで「人と人が共生し、ともに地域を創っている」、「区政に区民が参加している」と続く。

【設問】 今後、10年後に目指すべきまちの姿として、優先的に記載してほしい内容を、それぞれ3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、回答してください。



<自治・行政・活力>

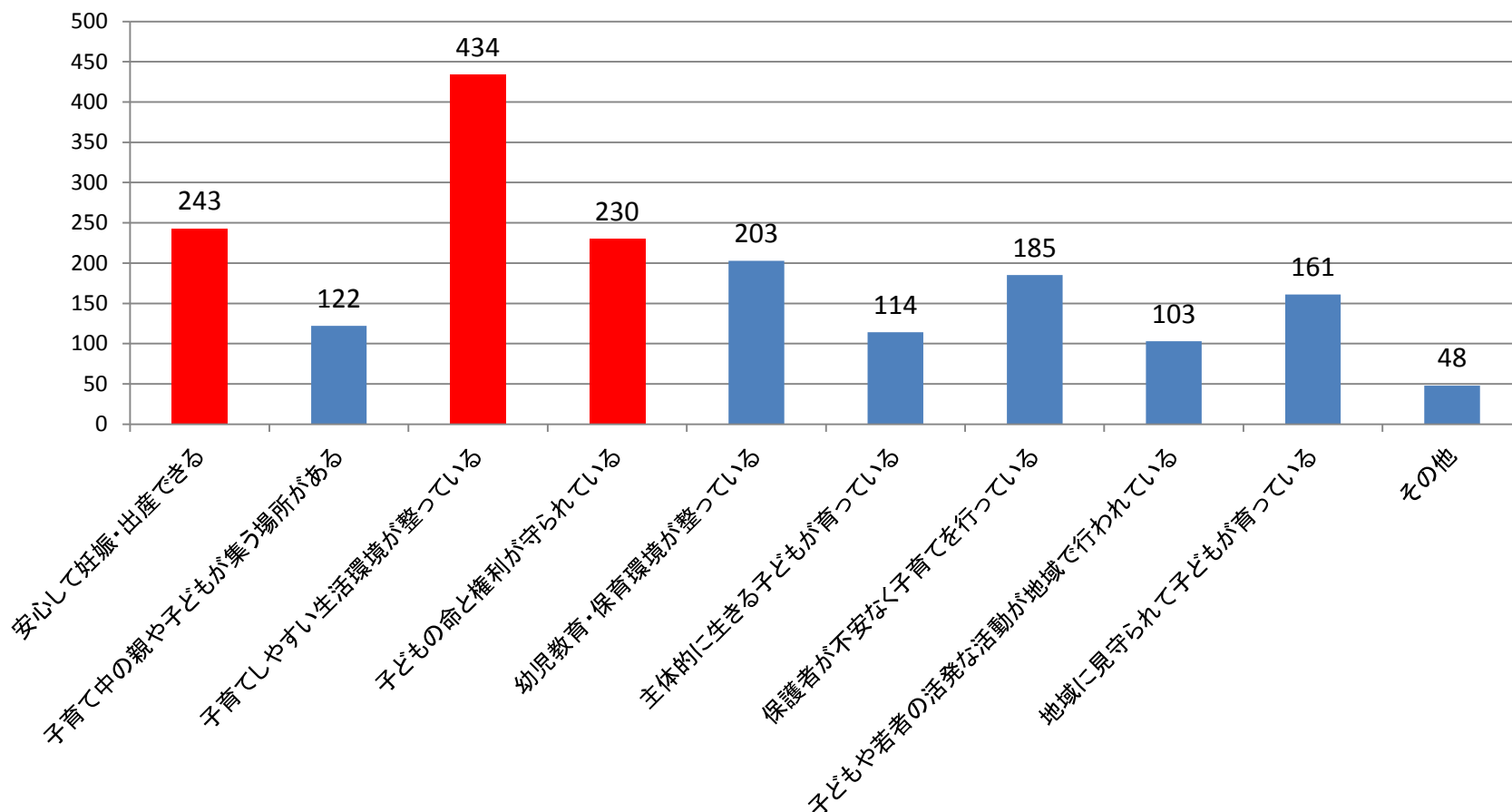
年代別順位は次のとおり。「質の高い行政サービスが提供されている」ことが、すべての年代で大切だと思われる。20代においては、「区内経済の活性化」が上位に入っている。

	総合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
区政に区民が参加している	3	7	4	3	5	3	3	2	1	3
新たな生活や価値が生まれている	7	2	7	7	7	7	8	8	5	4
人と人が共生し、ともに地域を創っている	2	5	2	2	2	1	2	3	3	4
区民が自ら地域課題を解決している	8	5	9	9	8	8	7	5	4	4
多様な文化や価値観が受け入れられている	5	1	5	4	3	4	5	7	7	4
区内の経済活動が活性化している	4	7	3	5	4	5	6	4	5	4
文化・芸術に気軽に触れられる	6	4	5	6	6	6	4	6	8	2
都市観光により街がにぎわっている	9	7	8	8	10	9	9	9	9	4
質の高い行政サービスが提供されている	1	3	1	1	1	2	1	1	1	1
その他	10	7	10	9	9	10	10	9	10	4

<子育て・教育>

「子育てしやすい生活環境が整っている」が最も多い。次いで「安心して妊娠・出産できる」、「子どもの命と権利が守られている」と続く。

【設問】 今後、10年後に目指すべきまちの姿として、優先的に記載してほしい内容を、それぞれ3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、回答してください。



<子育て・教育>

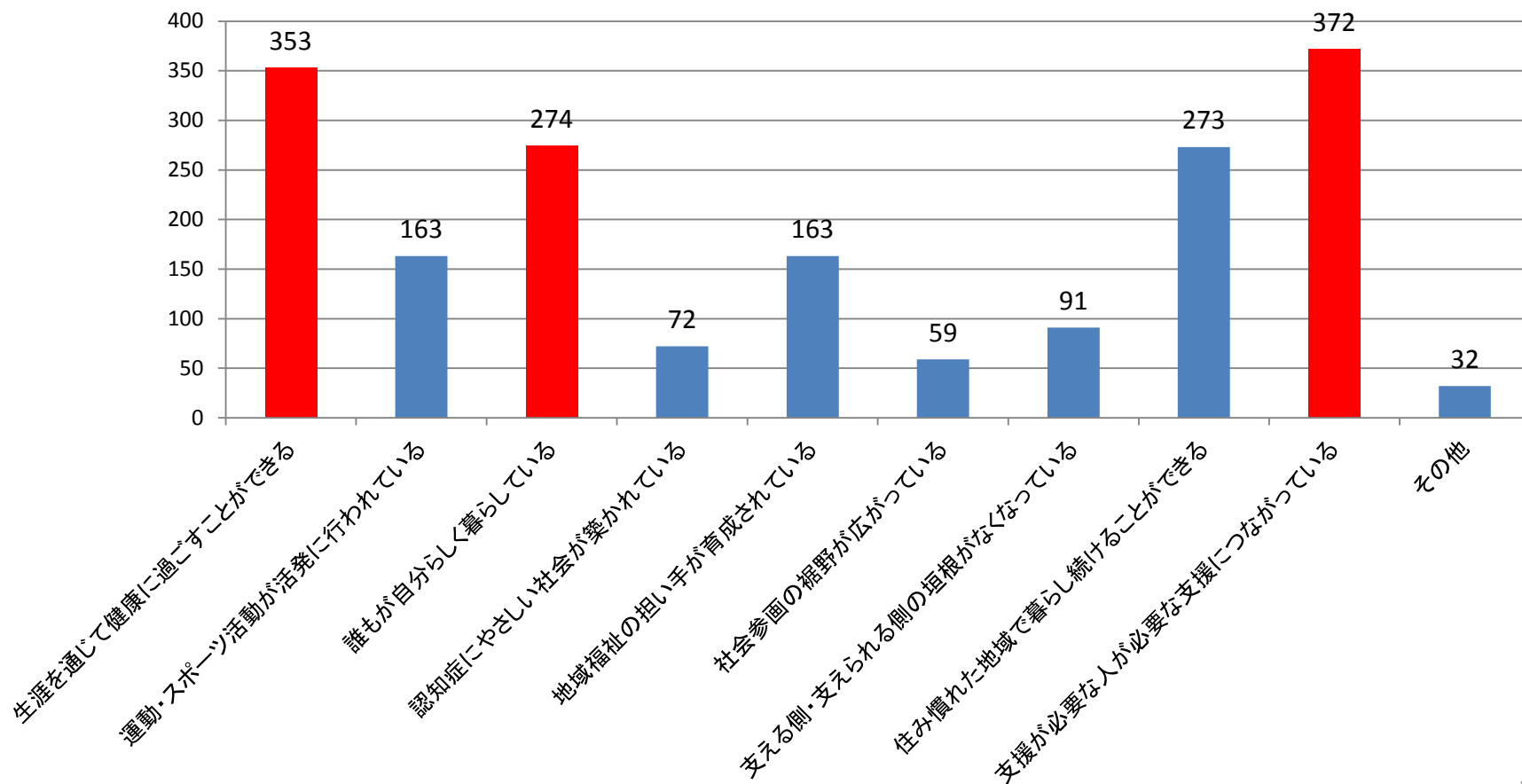
年代別順位は次のとおり。「子育てしやすい生活環境が整っている」ことが、すべての年代で大切だと思われる。80代と90代において、子どもと地域に関する項目が上位に入っている。

	総合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
安心して妊娠・出産できる	2	2	2	3	4	3	3	2	9	4
子育て中の親や子どもが集う場所がある	7	9	5	5	8	9	10	8	6	4
子育てしやすい生活環境が整っている	1	1	1	1	1	1	1	1	3	1
子どもの命と権利が守られている	3	9	8	2	2	2	2	4	6	4
幼児教育・保育環境が整っている	4	4	3	4	3	7	5	3	4	4
主体的に生きる子どもが育っている	8	2	7	8	7	7	8	7	6	4
保護者が不安なく子育てを行っている	5	4	4	6	5	6	4	6	4	2
子どもや若者の活発な活動が地域で行われている	9	4	9	9	9	5	7	9	1	4
地域に見守られて子どもが育っている	6	7	6	7	5	4	6	5	2	3
その他	10	7	10	10	10	10	9	10	10	4

<健康・医療・福祉>

「支援が必要な人が必要な支援につながっている」が最も多い。次いで「生涯を通じて健康に過ごすことができる」、「誰もが自分らしく暮らしている」と続く。

【設問】 今後、10年後に目指すべきまちの姿として、優先的に記載してほしい内容を、それぞれ3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、回答してください。



<健康・医療・福祉>

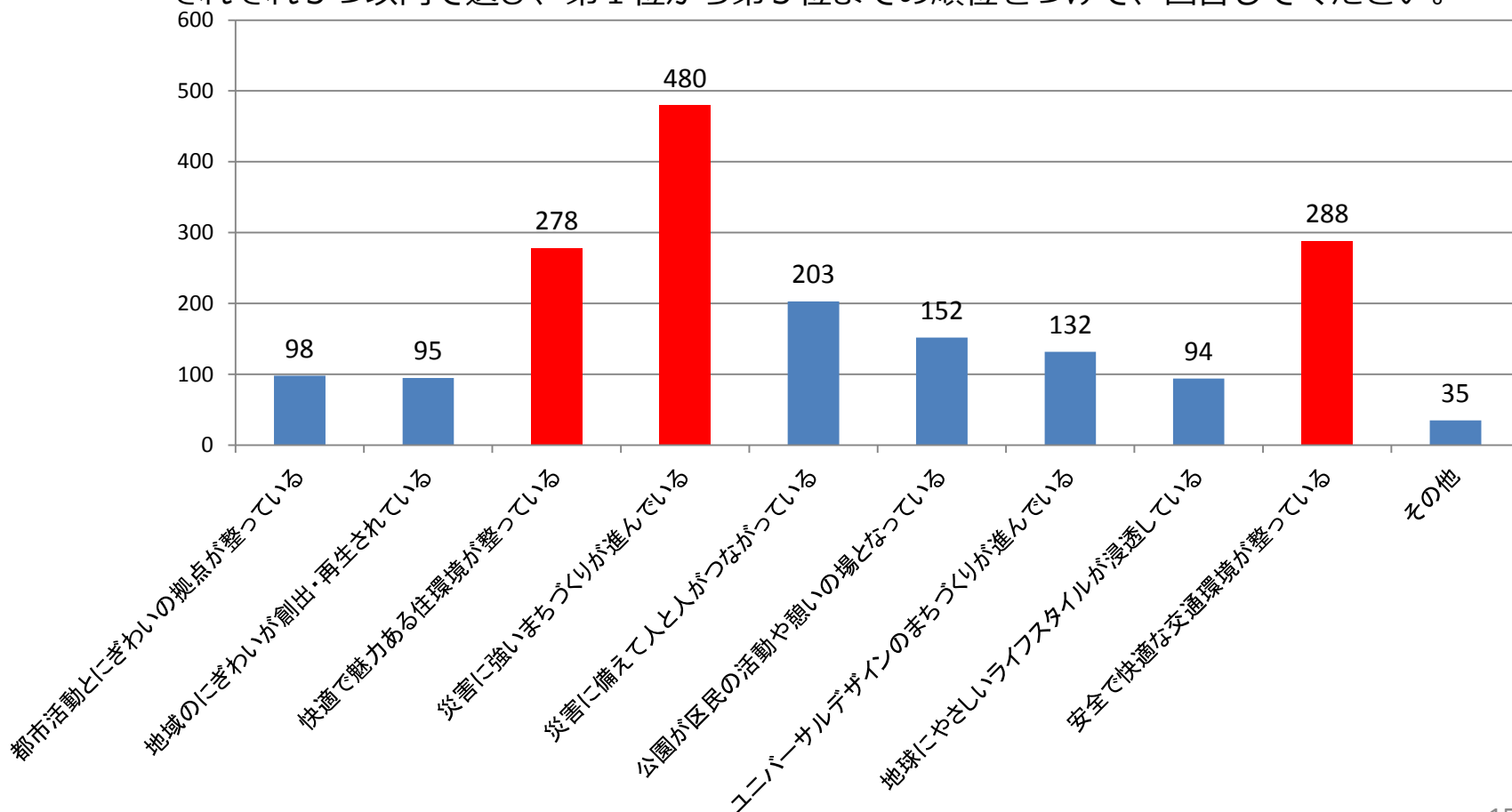
年代別順位は次のとおり。「生涯を通じて健康に過ごすことができる」ことが、すべての年代で大切だと思われる。50～80代において、「住み慣れた地域で暮らし続けることができる」が上位に入っている。

	総合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
生涯を通じて健康に過ごすことができる	2	1	1	3	2	3	1	1	1	1
運動・スポーツ活動が活発に行われている	5	6	5	5	4	6	6	6	9	4
誰もが自分らしく暮らしている	3	1	3	2	3	4	3	4	3	4
認知症にやさしい社会が築かれている	8	6	9	9	8	6	8	7	7	3
地域福祉の担い手が育成されている	5	5	6	6	6	5	5	5	3	4
社会参画の裾野が広がっている	9	6	7	7	9	10	10	9	5	4
支える側・支えられる側の垣根がなくなっている	7	6	7	8	7	8	7	7	7	4
住み慣れた地域で暮らし続けることができる	4	3	4	4	5	2	2	2	2	4
支援が必要な人が必要な支援につながっている	1	4	2	1	1	1	3	3	5	2
その他	10	6	10	10	10	9	9	10	10	4

<都市・防災・環境>

「災害に強いまちづくりが進んでいる」が最も多い。次いで「安全で快適な交通環境が整っている」、「快適で魅力ある住環境が整っている」と続く。

【設問】 今後、10年後に目指すべきまちの姿として、優先的に記載してほしい内容を、それぞれ3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、回答してください。



<都市・防災・環境>

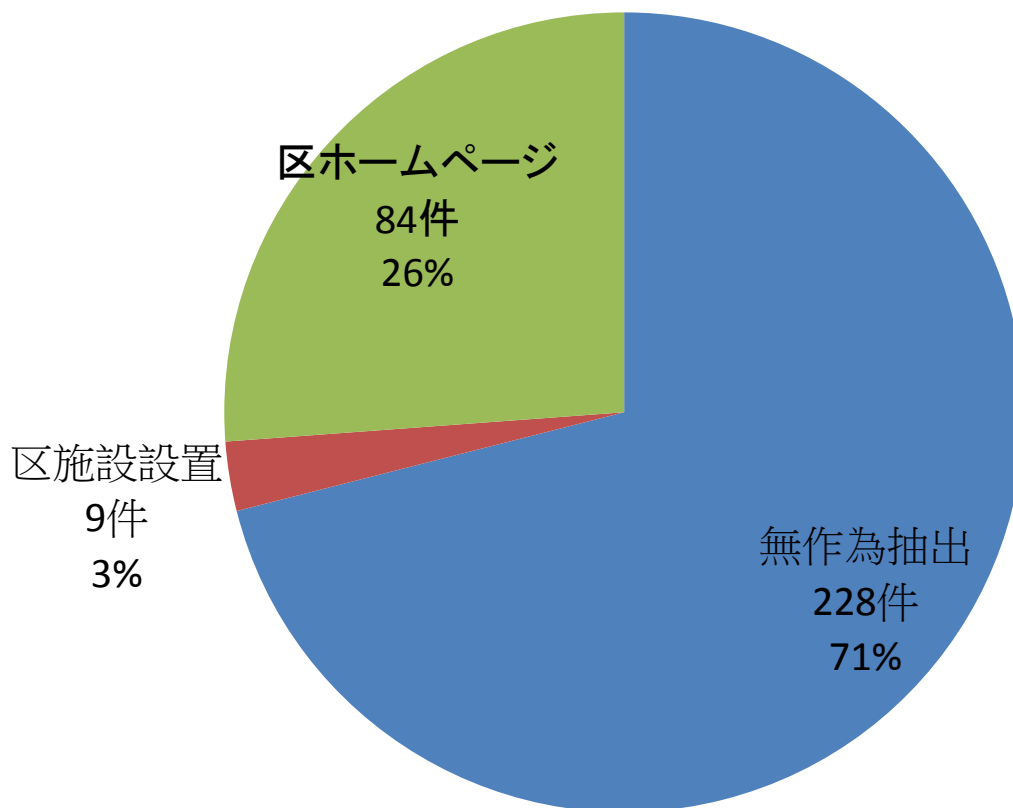
年代別順位は次のとおり。「災害に強いまちづくりが進んでいる」がほぼすべての年代で最も大切だと思われるっており、「快適で魅力ある住環境が整っている」こともすべての年代で大切だと思われる。10～40代においては、「安全で快適な交通環境が整っている」ことが上位に入っており、50代以上においては「災害に備えて人と人がつながっている」ことが上位に入っている。

	総合	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
都市活動とにぎわいの拠点が整っている	7	6	8	8	8	7	7	6	9	4
地域のにぎわいが創出・再生されている	8	6	7	7	7	9	10	7	5	4
快適で魅力ある住環境が整っている	3	3	3	3	3	2	2	3	3	1
災害に強いまちづくりが進んでいる	1	1	1	1	1	1	1	1	2	4
災害に備えて人と人がつながっている	4	3	5	6	4	3	3	2	1	3
公園が区民の活動や憩いの場となっている	5	6	4	4	9	6	4	5	6	2
ユニバーサルデザインのまちづくりが進んでいる	6	3	5	5	5	4	6	10	8	4
地球にやさしいライフスタイルが浸透している	9	6	8	9	6	8	8	8	7	4
安全で快適な交通環境が整っている	2	2	2	2	2	5	5	4	4	4
その他	10	6	10	10	10	10	9	8	9	4

(参考) 回答者について

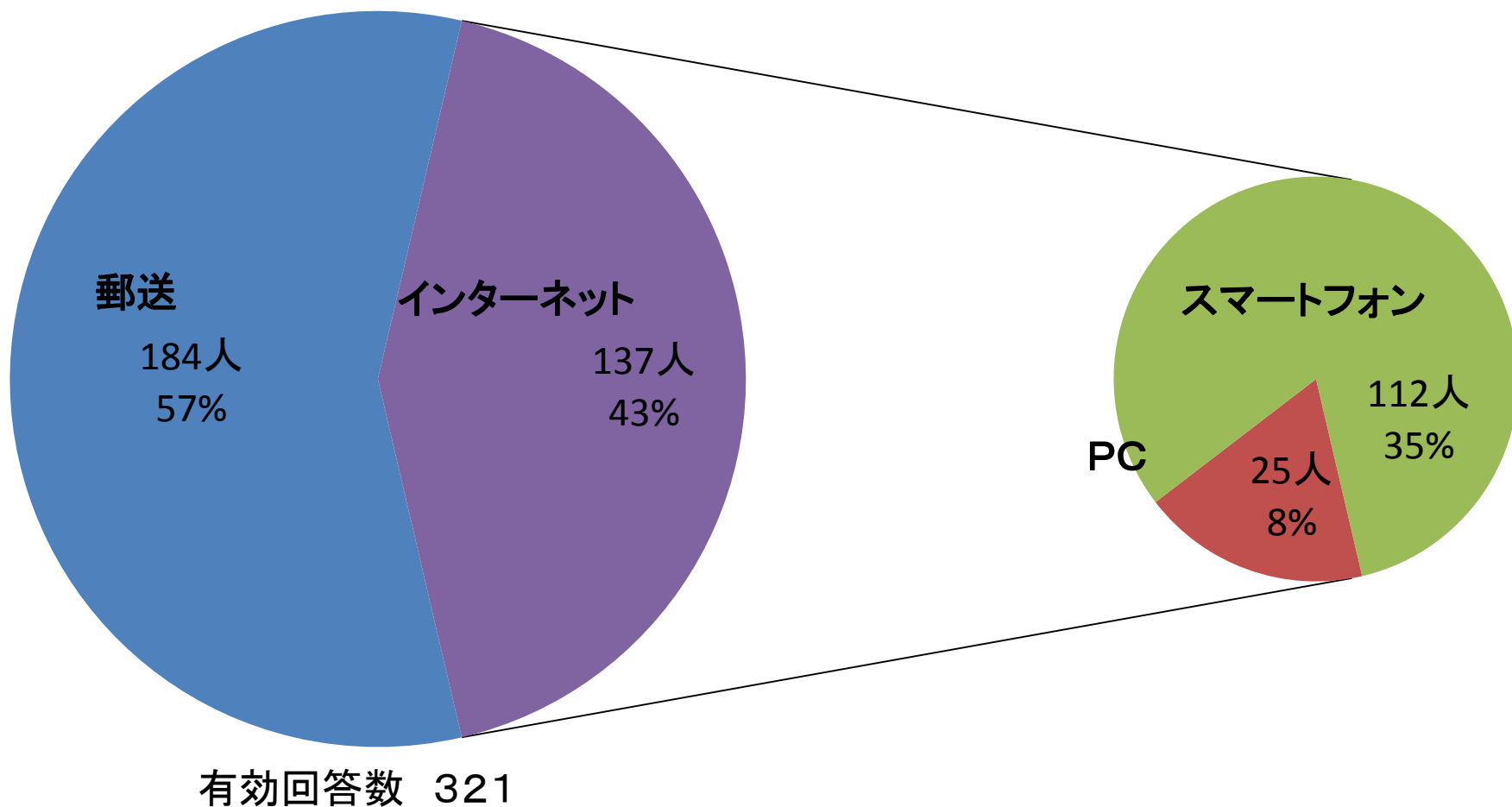
回答件数の内訳

回答件数は**321**件だった。そのうち「区民と職員のワークショップ」の案内に用紙を同封して実施したアンケート（**無作為抽出**）に対する回答が**最も多かった**。区ホームページからの回答は26%だった。



アンケート回答方法

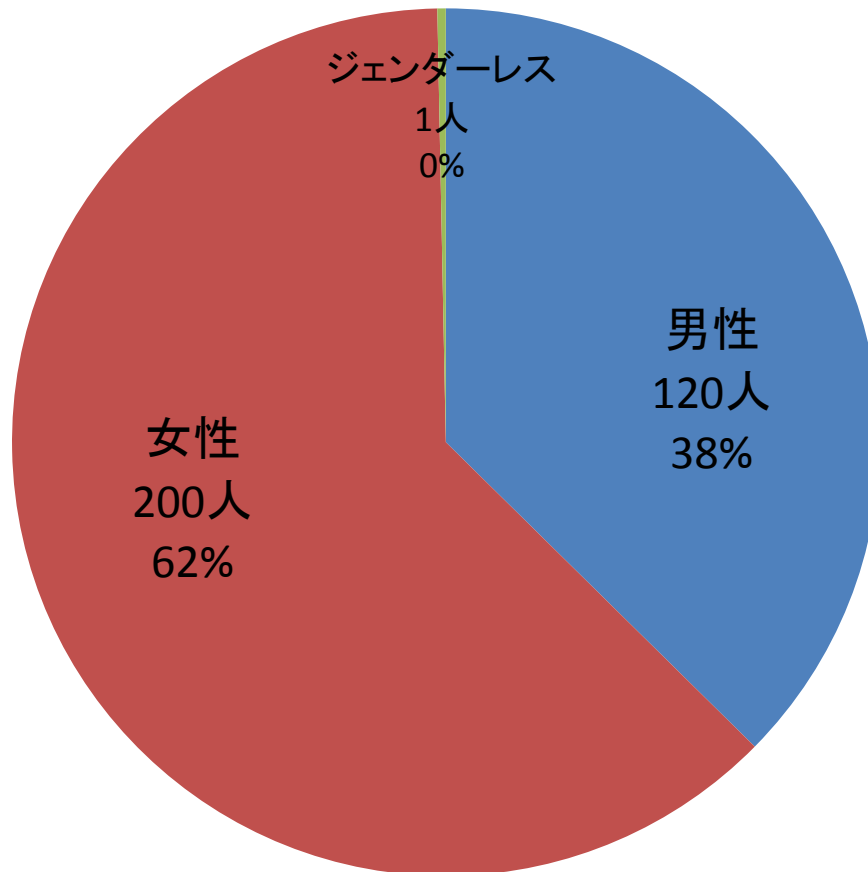
アンケートの回答方法は郵送が最も多かった。インターネット回答のうちスマートフォンでの回答は8割近い。



回答者の性別

男女比は4 : 6だった。

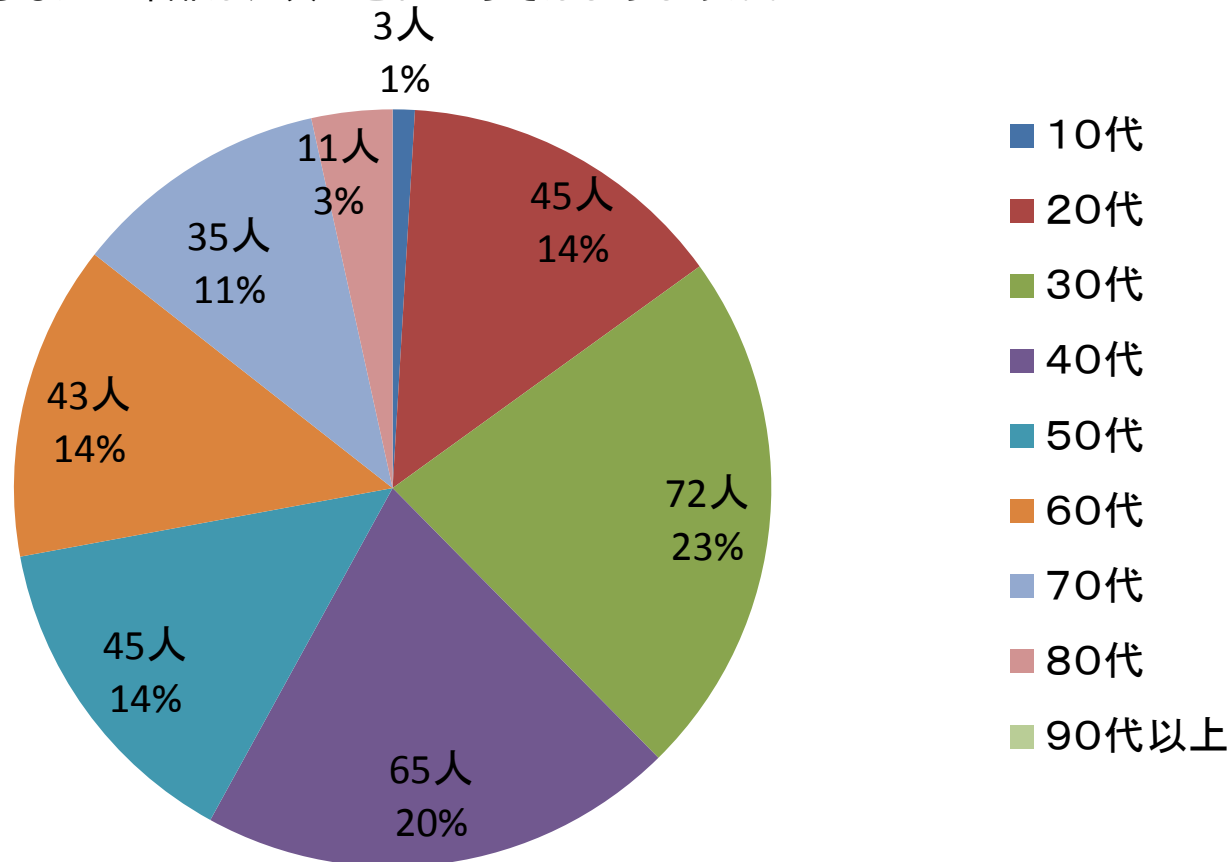
【設問】 あなたの性別は、どちらですか。



回答者の年代

30代が最も多く、40代、20代と50代と続く。10~40代で6割近くを占める。

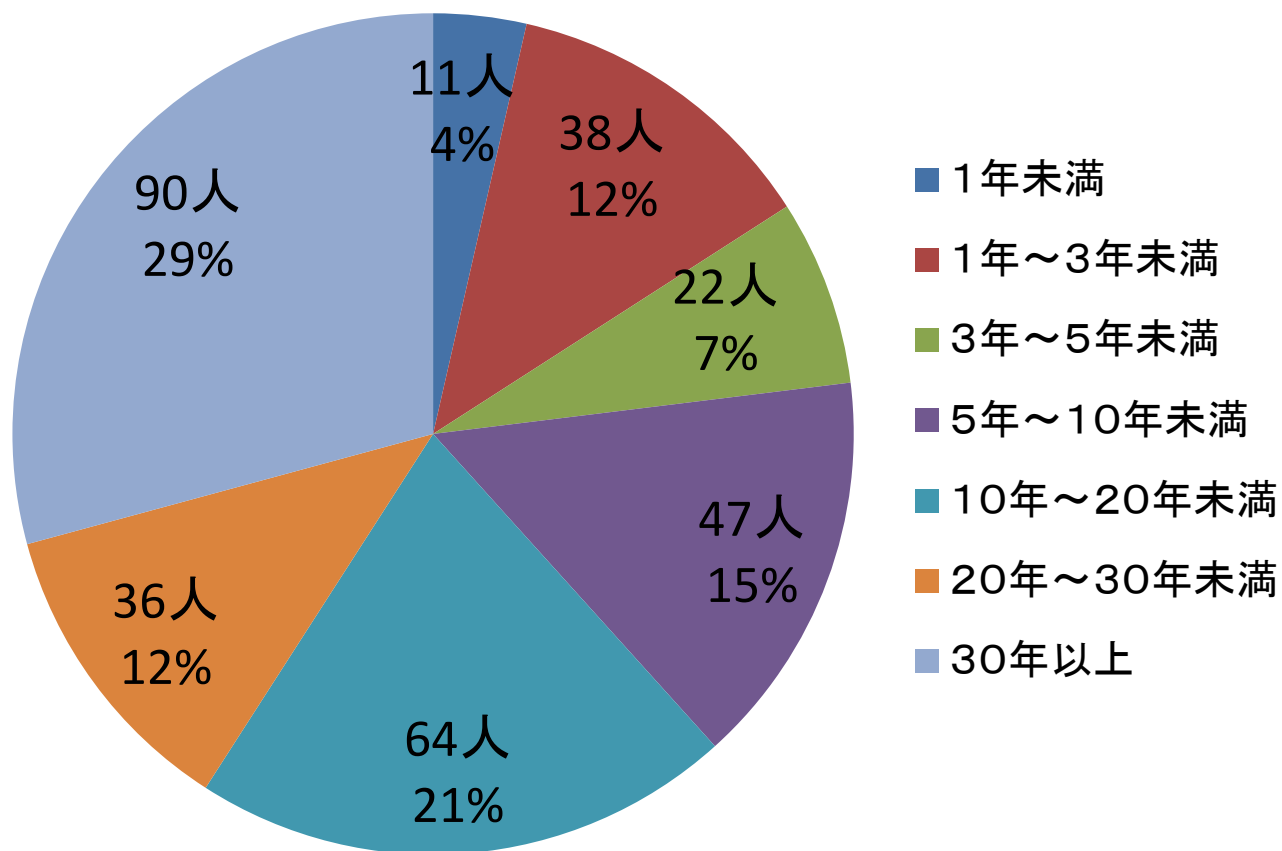
【設問】 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。



居住年数

30年以上が最も多くなっている。次いで10～20年未満が多い。

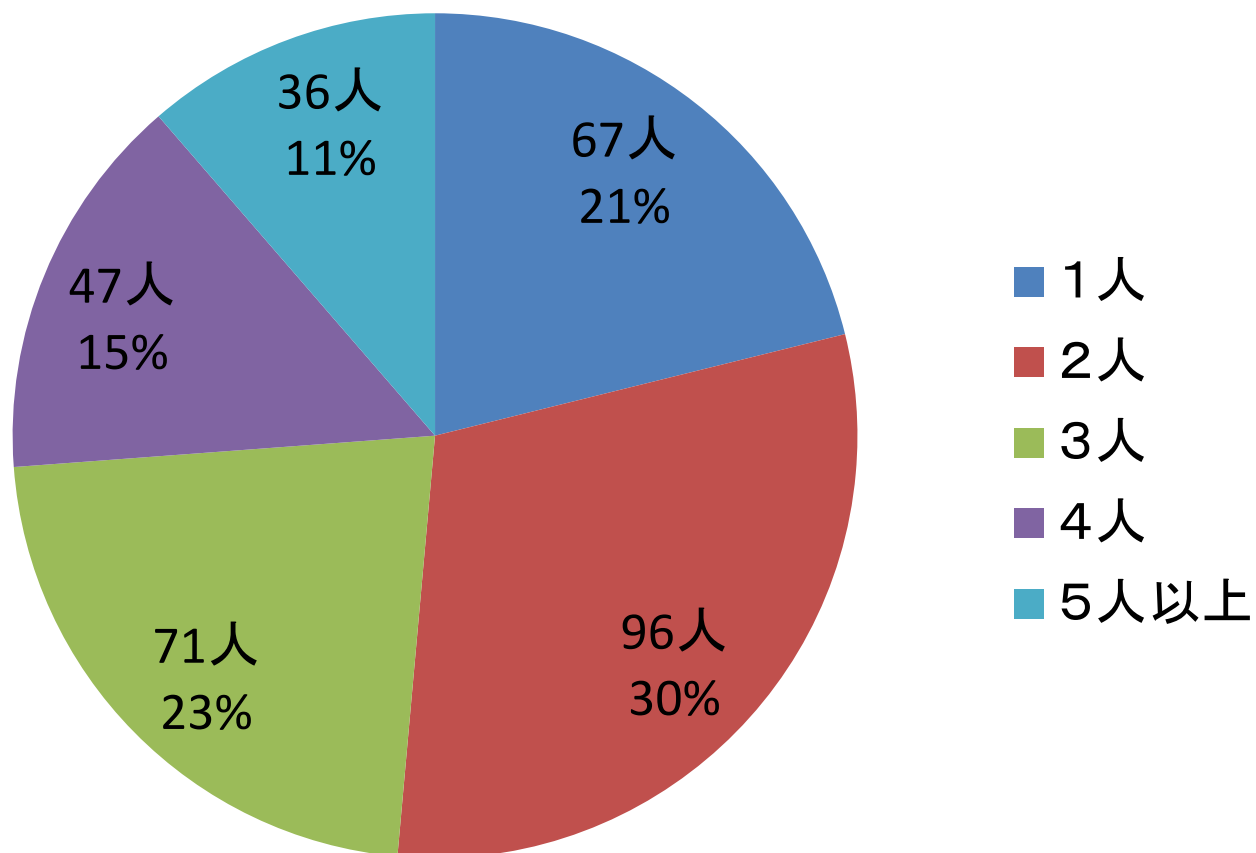
【設問】 中野区にお住まいになって何年になりますか。



同居している人数

2人が最も多い。次いで3人、1人となっている。

【設問】 現在、一緒にお住まいの方は、あなた本人を含めて何人ですか。



職業

常勤の勤め人（正社員）が最も多く約4割を占める。

【設問】 あなたの職業は、次のどれにあてはまりますか。

